

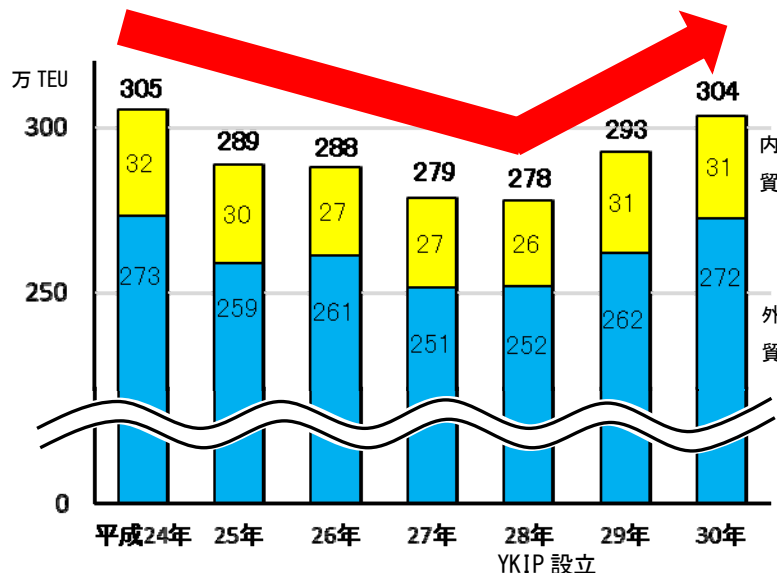
## コンテナ取扱個数、6年ぶりに300万個突破！ ～トランシップコンテナが3年連続増加、港勢拡大に寄与～

### 平成 30 年横浜港港勢（速報値）について

コンテナ取扱個数は外内貿合計 **304 万個<sup>※1</sup>**（**3.7%増<sup>※2</sup>**）で **2年連続増加** となり、24 年以来 **6年ぶりに300万個を超えました**。28 年 1 月の横浜川崎国際港湾株式会社（YKIP）の設立以降 V 字回復しています。

外貿コンテナのうち、トランシップ<sup>※3</sup>コンテナは **13 万個（14.8%増）** と、**3年連続増加** しました。**28 年下半期から増加傾向** に転じ、29 年以降は年間 10 万個を上回っており、**好調に推移** しています。

内貿コンテナも **堅調に推移** し、**31 万個（2.0%増）** と **2年連続増加** しました。



※1 個数の単位は TEU（20 フィート型換算個数）。

※2 文中の増減%は前年比。

※3 トランシップ…港湾統計では、A 国の船積港から積み出された貨物が、B 国（日本国内の中継港湾、本件では横浜港）で他船に積み替えられ、C 国の船卸港まで運送される場合をトランシップといいます。

#### 横浜港統計速報（平成 30 年速報値）トピック

##### コンテナ取扱個数 [304 万個 (3.7%増)]

**外貿コンテナが好調** で、272 万個 (3.9%増) と **3年連続増加** しました。

**輸出** 145 万個 (3.7%増)、主な増加品種は自動車部品、産業機械など

**輸入** 127 万個 (4.1%増)、主な増加品種は衣服・身廻品・はきもの、産業機械など

##### 取扱貨物量 [1 億 1,376 万トン (0.2%増)]

**外貿貨物が好調** で、7,828 万トン (5.6%増) と **2年連続増加** しました。

**輸出** 3,285 万トン (4.0%増)、主な増加品種は完成自動車、自動車部品など

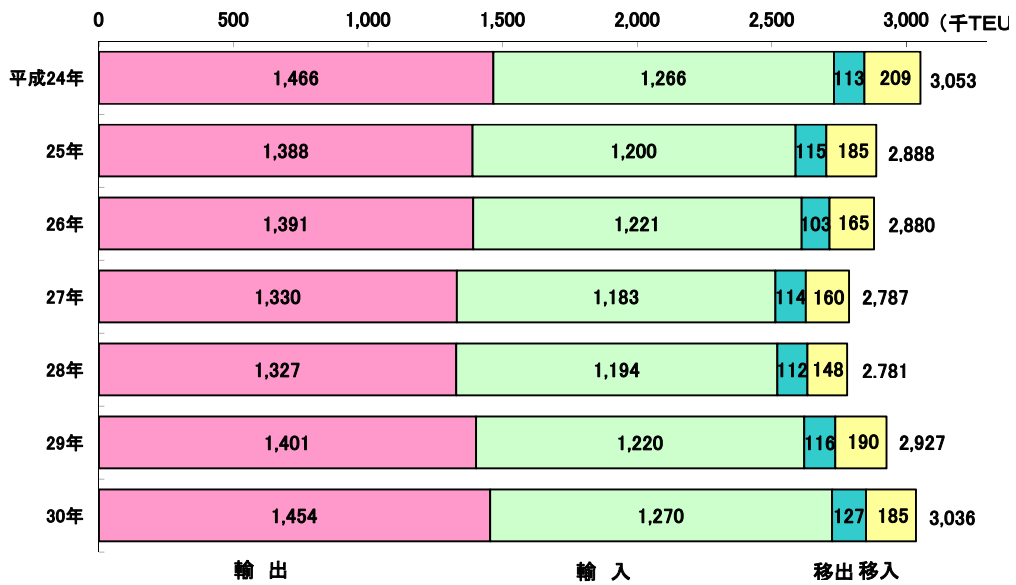
**輸入** 4,543 万トン (6.8%増)、主な増加品種は原油、完成自動車など

詳細なデータは、<http://www.city.yokohama.lg.jp/kowan/basicinfo/statistics/> を御参照ください。

#### お問合せ先

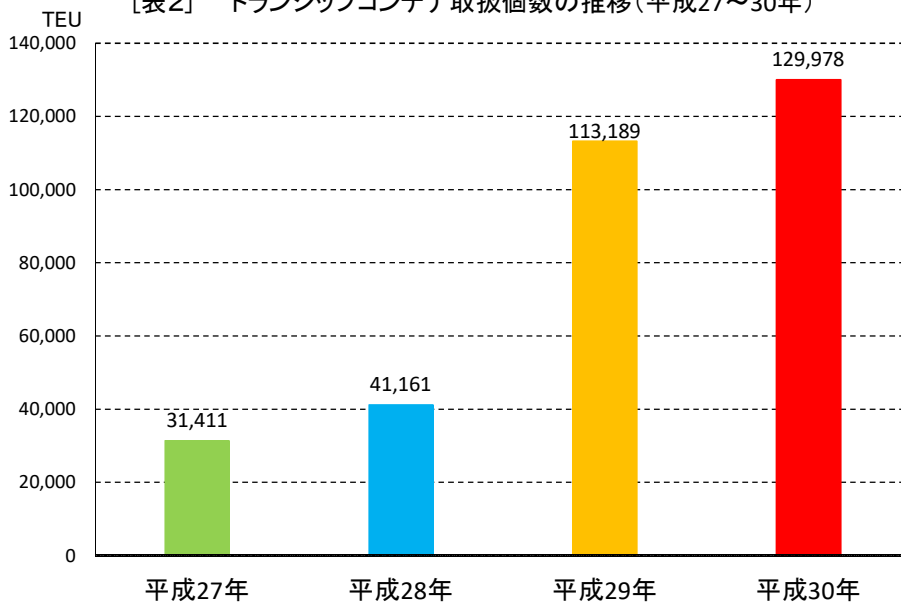
港湾局物流運営課海外事業等促進担当課長 海老原 信良 Tel 045-671-7338

[表1] コンテナ取扱個数の推移(平成24～30年)

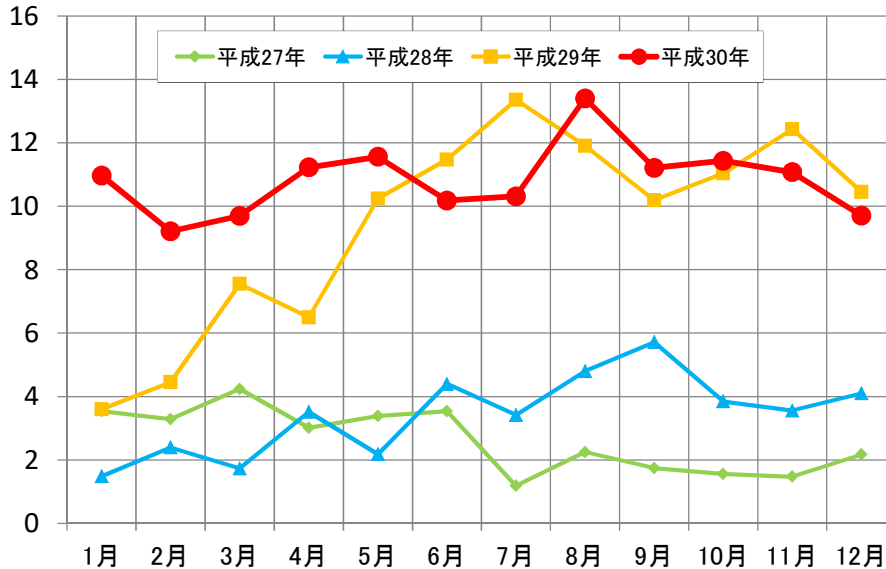


注: 端数処理の関係で 合計値が一致しない場合があります。

[表2] トランシップコンテナ取扱個数の推移(平成27～30年)



(千TEU) [表3] トランシップコンテナ取扱個数の推移(平成27～30年)



## 平成30年横浜港の港勢（速報値）

### 入港船舶

		単位	30年	前年比	構成比	29年	前年比	構成比
総数	隻数	隻	34,322	95.5	100.0	35,941	100.7	100.0
	総トン数	総トン	296,644,546	101.7	100.0	291,815,846	100.0	100.0
外航船	隻数	隻	9,708	98.4	28.3	9,864	100.2	27.4
	総トン数	総トン	254,476,687	102.7	85.8	247,754,025	99.9	84.9
うち フルコンテナ船	隻数	隻	4,791	101.3	49.4	4,731	102.0	48.0
	総トン数	総トン	125,583,212	102.4	49.3	122,645,403	97.9	49.5
内航船	隻数	隻	24,614	94.4	71.7	26,077	101.0	72.6
	総トン数	総トン	42,167,859	95.7	14.2	44,061,821	100.8	15.1

### 海上出入貨物

		単位	30年	前年比	構成比	29年	前年比	構成比
総数	貨物量	トン	113,762,484	100.2	100.0	113,499,857	104.0	100.0
	うちコンテナ貨物量	トン	43,071,485	104.1	37.9	41,359,056	106.2	36.4
	コンテナ個数	TEU	3,035,832	103.7	100.0	2,926,696	105.3	100.0
外貨	計	トン	78,282,721	105.6	68.8	74,102,398	107.5	65.3
	輸出	トン	32,850,346	104.0	28.9	31,581,853	103.1	27.8
	輸入	トン	45,432,375	106.8	39.9	42,520,545	111.0	37.5
うち コンテナ貨物	計	トン	40,282,285	104.5	51.5	38,560,308	106.0	52.0
	輸出	トン	17,123,847	106.2	52.1	16,125,605	109.1	51.1
	輸入	トン	23,158,438	103.2	51.0	22,434,703	103.9	52.8
コンテナ個数	計	TEU	2,723,882	103.9	89.7	2,621,010	104.0	89.6
	輸出	TEU	1,453,765	103.7	47.9	1,401,356	105.6	47.9
	輸入	TEU	1,270,117	104.1	41.8	1,219,654	102.2	41.7
内貨	計	トン	35,479,763	90.1	31.2	39,397,459	98.0	34.7
	移出	トン	14,685,434	95.1	12.9	15,447,144	105.6	13.6
	移入	トン	20,794,329	86.8	18.3	23,950,315	93.7	21.1
うち コンテナ貨物	計	トン	2,789,200	99.7	7.9	2,798,748	108.8	7.1
	移出	トン	1,417,472	103.2	9.7	1,372,936	95.3	8.9
	移入	トン	1,371,728	96.2	6.6	1,425,812	126.0	6.0
コンテナ個数	計	TEU	311,950	102.0	10.3	305,686	117.7	10.4
	移出	TEU	126,596	109.5	4.2	115,595	103.1	3.9
	移入	TEU	185,354	97.5	6.1	190,091	128.9	6.5

(注) コンテナ個数は、実入・空の合計。

「うちコンテナ貨物」の構成比は、外貨又は内貨の貨物量に占めるコンテナ貨物の割合。

### 貿易額

		単位	30年	前年比	構成比	29年	前年比	構成比
合計		百万円	12,471,813	110.3	100.0	11,310,777	105.9	100.0
輸出		百万円	7,719,202	107.6	61.9	7,177,217	104.2	63.5
輸入		百万円	4,752,611	115.0	38.1	4,133,560	108.8	36.5

(注) 平成31年1月23日横浜税関発表資料による。

## 輸出貨物主要品種・主要国別取扱量

平成30年（速報値）

（単位：トン・％）

順位	主要品種	貨物量	前年比	構成比	順位	主要相手国	貨物量	前年比	構成比
	合計	32,850,346	104.0	100.0		合計	32,850,346	104.0	100.0
1 (1)	完成自動車	12,759,544	104.1	38.8	1 (1)	中国	5,395,925	97.3	16.4
2 (2)	自動車部品	4,552,747	111.3	13.9	2 (3)	アメリカ合衆国	3,045,556	124.9	9.3
3 (3)	産業機械	3,123,969	112.2	9.5	3 (2)	オーストラリア	2,321,517	95.0	7.1
4 (5)	染料等化学工業品	1,793,905	108.7	5.5	4 (4)	タイ	1,779,377	117.7	5.4
5 (4)	鋼材	1,442,150	82.3	4.4	5 (5)	メキシコ	1,475,111	102.8	4.5
6 (6)	その他の石油	926,421	91.8	2.8	6 (6)	フィリピン	1,414,793	99.7	4.3
7 (8)	電気機械	922,042	104.6	2.8	7 (7)	韓国	1,397,447	99.6	4.3
8 (7)	再利用資材	903,632	94.7	2.8	8 (8)	台湾	1,397,446	114.0	4.3
9 (9)	ゴム製品	845,753	98.5	2.6	9 (9)	ベトナム	915,749	92.8	2.8
10 (10)	金属くず	438,704	80.0	1.3	10 (10)	アラブ首長国連邦	786,564	91.6	2.4
	10品種合計	27,708,867	103.4	84.3		10国合計	19,929,485	103.4	60.7
	その他	5,141,479	107.2	15.7		その他	12,920,861	104.9	39.3

## 輸入貨物主要品種・主要国別取扱量

平成30年（速報値）

（単位：トン・％）

順位	主要品種	貨物量	前年比	構成比	順位	主要相手国	貨物量	前年比	構成比
	合計	45,432,375	106.8	100.0		合計	45,432,375	106.8	100.0
1 (1)	LNG（液化天然ガス）	8,367,243	103.8	18.4	1 (1)	中国	7,962,239	103.9	17.5
2 (2)	原油	7,107,834	125.0	15.6	2 (2)	オーストラリア	7,135,357	114.1	15.7
3 (3)	製造食品	1,976,974	103.0	4.4	3 (3)	サウジアラビア	5,056,744	108.4	11.1
4 (4)	電気機械	1,587,920	106.4	3.5	4 (4)	アメリカ合衆国	4,720,272	122.0	10.4
5 (5)	衣服・身廻品・はきもの	1,554,890	111.0	3.4	5 (6)	タイ	2,276,687	116.4	5.0
6 (6)	自動車部品	1,385,469	106.0	3.0	6 (5)	マレーシア	2,229,440	57.7	4.9
7 (7)	染料等化学工業品	1,373,064	106.5	3.0	7 (7)	韓国	1,263,483	101.5	2.8
8 (10)	産業機械	1,290,458	113.8	2.8	8 (9)	ロシア	1,166,853	103.8	2.6
9 (8)	野菜・果物	1,247,282	98.9	2.7	9 (10)	メキシコ	1,149,841	109.9	2.5
10 (16)	完成自動車	1,222,545	146.0	2.7	10 (8)	カナダ	1,041,140	92.2	2.3
	10品種合計	27,113,679	111.2	59.7		10国合計	34,002,056	103.6	74.8
	その他	18,318,696	101.0	40.3		その他	11,430,319	117.7	25.2

（注1） 順位の（）内は、前年の順位。

（注2） 平成30年品種改正について：

「石油製品」から「揮発油（ガソリン、ナフサ）」が分離し、「石油製品」は「その他の石油」へ名称変更。

《前年比の扱い》 「揮発油」は新規項目扱い。「その他の石油」は前年「石油製品」との比較としています。

## コンテナ輸出貨物主要品種・主要国別取扱量

平成30年（速報値）

（単位：トン・％）

順位	主 要 品 種	貨物量	前年比	構成比	順位	主 要 相 手 国	貨物量	前年比	構成比
	合 計	17,123,847	106.2	100.0		合 計	17,123,847	106.2	100.0
1 (1)	自 動 車 部 品	4,487,719	112.1	26.2	1 (1)	中 国	3,775,301	100.5	22.0
2 (3)	染料等化学工業品	1,765,871	108.8	10.3	2 (2)	タ イ	1,501,999	120.3	8.8
3 (4)	産 業 機 械	1,691,418	114.1	9.9	3 (3)	メ キ シ コ	1,057,589	93.8	6.2
4 (2)	完 成 自 動 車	1,545,173	91.5	9.0	4 (4)	台 湾	976,535	105.3	5.7
5 (5)	再 利 用 資 材	903,632	94.7	5.3	5 (5)	ア メ リ カ 合 衆 国	915,108	110.2	5.3
6 (7)	電 気 機 械	892,611	106.9	5.2	6 (6)	ベ ト ナ ム	787,925	103.1	4.6
7 (6)	ゴ ム 製 品	839,844	98.4	4.9	7 (7)	韓 国	644,384	100.2	3.8
8 (8)	鋼 材	420,725	99.9	2.5	8 (10)	マ レ ー シ ア	601,905	135.8	3.5
9 (9)	製 造 食 品	375,449	112.5	2.2	9 (8)	ア ラ ブ 首 長 国 連 邦	537,784	94.3	3.1
10 (11)	非 鉄 金 属	315,470	108.6	1.8	10 (11)	イ ン ド ネ シ ア	479,705	113.0	2.8
	10 品 種 合 計	13,237,912	106.0	77.3		10 国 合 計	11,278,235	105.1	65.9
	そ の 他	3,885,935	106.7	22.7		そ の 他	5,845,612	108.4	34.1

## コンテナ輸入貨物主要品種・主要国別取扱量

平成30年（速報値）

（単位：トン・％）

順位	主 要 品 種	貨物量	前年比	構成比	順位	主 要 相 手 国	貨物量	前年比	構成比
	合 計	23,158,438	103.2	100.0		合 計	23,158,438	103.2	100.0
1 (1)	製 造 食 品	1,976,967	103.0	8.5	1 (1)	中 国	7,642,896	103.1	33.0
2 (2)	電 気 機 械	1,586,091	106.6	6.8	2 (2)	ア メ リ カ 合 衆 国	2,308,264	92.9	10.0
3 (3)	衣服・身廻品・はきもの	1,554,792	111.0	6.7	3 (3)	タ イ	1,907,264	113.3	8.2
4 (4)	自 動 車 部 品	1,344,362	105.0	5.8	4 (4)	オーストラリア	1,332,621	109.4	5.8
5 (5)	染料等化学工業品	1,285,270	106.3	5.5	5 (6)	ベ ト ナ ム	836,229	123.9	3.6
6 (8)	産 業 機 械	1,118,529	114.3	4.8	6 (5)	韓 国	731,907	102.1	3.2
7 (6)	動植物性製造飼肥料	1,079,972	98.3	4.7	7 (7)	メ キ シ コ	647,194	100.9	2.8
8 (7)	野 菜 ・ 果 物	1,063,355	99.7	4.6	8 (8)	台 湾	625,477	106.0	2.7
9 (9)	家 具 装 備 品	1,029,690	108.8	4.4	9 (10)	イ ン ド ネ シ ア	565,870	111.7	2.4
10 (10)	そ の 他 畜 産 品	921,903	103.7	4.0	10 (9)	カ ナ ダ	469,200	84.9	2.0
	10 品 種 合 計	12,960,931	105.6	56.0		10 国 合 計	17,066,922	103.5	73.7
	そ の 他	10,197,507	100.4	44.0		そ の 他	6,091,516	102.4	26.3

（注1） 順位の（ ）内は、前年の順位。

（注2） 平成30年品種改正について：

「石油製品」から「揮発油(ガソリン、ナフサ)」が分離し、「石油製品」は「その他の石油」へ名称変更。

《前年比の扱い》 「揮発油」は新規項目扱い。「その他の石油」は前年「石油製品」との比較としています。

## 移出貨物主要品種・主要港別取扱量

平成30年（速報値）

（単位：トン・％）

順位	主要品種	貨物量	前年比	構成比	順位	主要相手港	貨物量	前年比	構成比
	<b>合計</b>	<b>14,685,434</b>	<b>95.1</b>	<b>100.0</b>		<b>合計</b>	<b>14,685,434</b>	<b>95.1</b>	<b>100.0</b>
1 (1)	その他の石油	2,610,776	54.3	17.8	1 (1)	千葉	2,756,549	81.3	18.8
2 (2)	重油	2,051,420	96.6	14.0	2 (2)	名古屋	2,205,859	105.1	15.0
3 (-)	揮発油	1,538,519	全増	10.5	3 (3)	川崎	1,670,886	106.8	11.4
4 (4)	取合せ品	1,328,931	109.8	9.0	4 (4)	東京	712,039	79.2	4.8
5 (3)	完成自動車	1,251,150	96.0	8.5	5 (6)	木更津	659,076	96.0	4.5
6 (7)	鉄鋼	901,705	129.9	6.1	6 (5)	海上	624,201	90.5	4.3
7 (8)	再利用資材	766,131	116.1	5.2	7 (8)	室蘭	540,459	99.6	3.7
8 (5)	鋼材	673,495	83.8	4.6	8 (7)	仙台塩釜	538,301	82.8	3.7
9 (6)	廃土砂	670,762	87.6	4.6	9 (13)	鹿島	464,286	147.4	3.2
10 (9)	動植物性製造飼肥料	557,299	101.5	3.8	10 (9)	三河	461,197	101.0	3.1
	10品種合計	12,350,188	95.6	84.1		10港合計	10,632,853	94.2	72.4
	その他	2,335,246	92.2	15.9		その他	4,052,581	97.6	27.6

## 移入貨物主要品種・主要港別取扱量

平成30年（速報値）

（単位：トン・％）

順位	主要品種	貨物量	前年比	構成比	順位	主要相手港	貨物量	前年比	構成比
	<b>合計</b>	<b>20,794,329</b>	<b>86.8</b>	<b>100.0</b>		<b>合計</b>	<b>20,794,329</b>	<b>86.8</b>	<b>100.0</b>
1 (1)	原油	6,252,699	69.5	30.1	1 (1)	喜入	6,252,300	69.5	30.1
2 (2)	完成自動車	2,583,094	89.0	12.4	2 (2)	川崎	2,049,871	89.2	9.9
3 (3)	砂利・砂	2,511,224	114.5	12.1	3 (3)	名古屋	2,019,983	89.8	9.7
4 (4)	セメント	2,343,193	110.8	11.3	4 (5)	木更津	1,772,188	106.3	8.5
5 (5)	石炭	1,541,240	73.7	7.4	5 (4)	千葉	1,687,929	90.2	8.1
6 (7)	鋼材	1,173,576	92.5	5.6	6 (6)	仙台塩釜	1,074,224	83.7	5.2
7 (8)	取合せ品	1,158,570	100.1	5.6	7 (8)	荻田	664,143	135.4	3.2
8 (6)	その他の石油	793,005	57.9	3.8	8 (7)	須崎	583,682	101.2	2.8
9 (-)	揮発油	654,254	全増	3.1	9 (9)	八戸	321,857	78.8	1.5
10 (9)	重油	533,133	103.0	2.6	10 (10)	赤穂	321,444	96.4	1.5
	10品種合計	19,543,988	86.4	94.0		10港合計	16,747,621	83.0	80.5
	その他	1,250,341	93.9	6.0		その他	4,046,708	107.2	19.5

（注1） 順位の（ ）内は、前年の順位。

（注2） 平成30年品種改正について：

「石油製品」から「揮発油（ガソリン、ナフサ）」が分離し、「石油製品」は「その他の石油」へ名称変更。

《前年比の扱い》 「揮発油」は新規項目扱い。「その他の石油」は前年「石油製品」との比較としています。